21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

PRESS RELEASE

日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式

# meets NODA [But-a-I]

会期：2008年5月31日（土）～10月19日（日）

金沢21世紀美術館
21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

# プロジェクト概要

【プロジェクト名称】 日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式
meets NODA [But-a-l]

【英文名称】 Katsuhiko HIBINO Art Project “HOME→AND←AWAY” SYSTEM
meets NODA [But-a-l]

【メイン・アーティスト】 日比野克彦
【ゲスト・アーティスト】 野田秀樹

【会期】 2008 年 5 月 31 日（土)〜10 月 19 日（日）
※プロジェクト工房での活動は 2008 年 4 月開始

【閉場日】 毎週月曜日
（ただし、7 月 21 日、9 月 15 日、9 月 22 日、10 月 13 日は開場)、
7 月 22 日、9 月 16 日、10 月 14 日

【開場時間】 10 時〜18 時 ( 金・土曜日は 20 時まで )

【観覧料】 無料　※イベント開催時、有料となることがあります。

【会場】 金沢 21 世紀美術館　展示室 13、
プロジェクト工房（会期中の土曜日 14 時〜17 時）
※プロジェクト工房での活動は非公開

【主催】 金沢 21 世紀美術館〔(財）金沢芸術創造財団〕

【協賛】 株式会社ムラヤマ、ものづくり実行委員会、レンゴー株式会社

【協力】 金沢美術工芸大学、
キヤノンマーケティングジャパン株式会社、
スキップデザイン、セーレン株式会社、
多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科、
有限責任中間法人石川フットボールクラブ、
ユザワヤ商事株式会社

**＜本資料に関するお問い合わせ＞**
金沢 21 世紀美術館　広報担当 : 落合・黒田・岡田
TEL：076-220-2811　FAX：076-220-2806
〒920-8509　金沢市広坂 1-2-1
http://www.kanazawa21.jp　E-mail:press@kanazawa21.jp

※取材希望および本展覧会の作品写真借用などは上記へお問い合わせください。

# プロジェクトについて

**「金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム」**の第 2 弾として、野田秀樹（俳優、劇作家、演出家）を迎え、空間・時間の表現者を目指す若者を対象にワークショップを行います。

2007 年度、日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式において同プログラムを牽引し、野田秀樹とは舞台美術を通じて交流のあるアーティスト日比野克彦が、アートに演劇の要素を導入し、美術館における表現の拡大をはかります。野田秀樹は、「美術館の展示室」という自身にとっての「アウェー」の場との交信をすることで、プロジェクトを通じて表現の新たな可能性を探ろうとしています。

会期中はプロジェクト工房にてワークショップが行われるほか、館内の［展示室 13］には［But-a-l］（舞台）が出現し、観客を巻き込んだ展示が進行します。

**金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム**

スウェーデンのストックホルム近代美術館で成功を収めている高校生対象の教育普及プログラム「ゾーン・モデルナ」をモデルとし、金沢 21 世紀美術館において若者を対象に立ち上げられたプログラム。
2007 年度にはその第一弾として、日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式が開催された。

## プレスガイダンスのご案内

日比野克彦氏、野田秀樹氏を迎えてプレスガイダンスを行います。

日時：2008 年 8 月 22 日（金）18：30〜19：30
会場：金沢 21 世紀美術館　展示室 13［But-a-l］
受付：会議室 1

＊プレスガイダンスご参加の方は事前にお申し込みください。
＊開始時刻が遅れる場合がございますがご容赦ください。

# プロジェクトの内容

Seeds company 始動！

## [But-a-l] ワークショップ

### 2008 年 4 月〜10 月 19 日（日）〈プロジェクト工房〉及び〈展示室 13〉

日比野克彦、野田秀樹を迎えての長期ワークショップが 4 月に始動。
ワークショップ受講生となった若者約 30 名が Seeds company を結成し、毎週土曜日、プロジェクト工房を舞台にワークショップを続けています。5 月 31 日には、展示室 13 に出現するヒノキの舞台で活動を開始。ファッションブランド C's を立ち上げ、舞台上で展示空間を彩る作品を制作します。約半年間、日比野や野田の指導に基づき、舞台が展開していくプロセスを公開します。※ワークショップ受講生の受付は締め切っております。

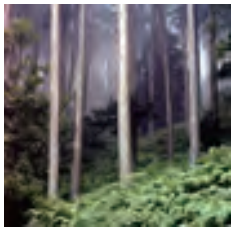
---

ヒノキ舞台が出現！

## [But-a-l]

### 2008 年 5 月 31 日 ( 土 )〜10 月 19 日（日）〈展示室 13〉

展示室には、尾鷲ヒノキの間伐材 2000 本以上から成る舞台が組み上げられ、日比野の手による舞台セットが出現します。
来場者は、舞台と客席を行ったり来たりしながら、知らず知らずのうちに演者になったり、観客になったりします。その仕掛けを、日比野や野田とともに、Seeds company（ワークショップ受講生）が生み出し、実験していきます。



尾鷲ヒノキ

---

[But-a-l] を飾る日比野克彦の新作

## 《種の人》、《種の船の人》

### 2008 年 5 月 31 日 ( 土 )〜10 月 19 日（日）〈展示室 13〉

舞台を飾る11点の作品は、日比野による新作です。段ボールに毛糸の刺繍で表された人物は、「明後日朝顔プロジェクト21」から生まれた種を持っています。一部 Seeds company（ワークショップ受講生）とも協働しながら、プロジェクト工房で制作されました。
裏を向けて展示されたこの作品を、一般鑑賞者が舞台上で客席側を向いて鑑賞します。客席の鑑賞者はその様子を舞台の一場面ととらえて観ることになります。
また、会期中には、ワークショップの中から、緞帳や衣装など、様々なアイテムが生み出されていきます。

---

野田秀樹の公開ワークショップ

## [But-a-l] サマーキャンプ

### 2008 年 8 月 19 日 ( 火 )〜8 月 22 日（金）〈展示室 13〉

日比野克彦の作品《But-a-l》展示空間において、野田秀樹が新作を創る過程のワークショップに大学生や Seeds company が参加し、その現場体験を通じて「芝居を創る」ことを体験します。新作の中の一場面、あるいは数場面を、学生や受講生と共に創ってみるという創作の現場に一般の鑑賞者が立ち会います。
[But-a-l] サマーキャンプは下記のプログラムから構成されます。
＊ 多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科野田秀樹教授担当集中講座「専門演習Ⅲ」
＊ 金沢美術工芸大学視覚デザイン研究室特別プログラム
＊ 東京芸術大学先端芸術表現科日比野研究室特別プログラム
＊ Seeds company 夏期特別プログラム

---

[But-a-l] のニュースを発信！

## 「明後日新聞社 金沢支局」

### 2008 年 4 月〜2009 年 3 月

2007 年度の「ホーム→アンド←アウェー」方式において若者たちが「ホーム」（金沢）と「アウェー」（他の地域）を行き来するための母体となった「明後日新聞社 金沢支局」が、今年度も活動を継続します。『明後日新聞 金沢版』の取材、執筆、編集を担当する特派員には新たなメンバーが加わり、[But-a-l] ワークショップの様子を伝えるほか、特派員の目がとらえた様々な「アウェー」情報を発信します。
今年度は月 1 回のペースで新聞を発行、 1 部 50 円でミュージアムショップにて販売します。

# 作家からのメッセージ

初めは、長年旧知の仲である日比野さんから、演劇の世界にばかり閉じこもっていないで少しは、外の空気も吸ったほうがいいよ。という誘いがあって、「アウェイ」気分で、金沢 21 世紀美術館を訪ねた。
行ってみたら、金沢 21 世紀美術館には、開放感と遊び心があり、物を作る人間に最高の風が吹いていた。
俄かに、私の演劇心に火がついた。よし、だったら、これから創る新作の芝居に、この最高の風を使わない手はない。一転して「ホーム」気分だ。
元々、自分が若い頃に演劇を始めた頃などは、金は無くとも有り余る暇に任せて、物を考え空間を作り上げていた。金沢 21 世紀美術館の外の広場やら中のスタジオやらで、そんな若い物作りの姿（必ずしも年齢が若い必要は無い）が見られれば、旅人気分でやって来る私には最高のもてなしになります。だからわたしも、手ぶらではなく、何かいいお土産を持っていきます。

野田秀樹

---

野田 「美術は**いいよね**、いつまでもあるから、でも演劇はいつまでもないから、消えてなくなってしまうから…」
日比野「演劇は**いいよね**、表現している時に、伝える相手が目の前にいて、その反応をその場で受け止めることが出来るから、でも美術は…」
このふたつの**「いいよね」**を追いかけてみたいと思った。
美術と演劇というふたつのメディアを行ったり来たりすることが 2008 年の「ホーム→アンド←アウェー」方式です。

そこで、まずは美術館の展示室の中に劇場機能を持った空間を美術作品として制作しようと考えた。劇場自体が作品であるから、それを見にくる観客がいる。しかしそこは舞台でもある。その状況を見立てれば演劇的空間が見えてくる。
**演劇は舞台がある限り演じ続けられ、**
**作品は展示室に伝える人がいる状況の時に見えてくる。**

そんなしつらえとして、檜を使った [But-a-l] が展示室 13 に出来あがったのは 5 月 31 日のことです。しかし展示作品がこの時点で出来上がったわけではありません。
この [But-a-l] を使って、観客を取り込みながら演劇空間を創っていこうというのが今回の作品です。
その為に、この [But-a-l] で Seeds companyというグループでワークショップを行っています。Seeds company は今回の呼びかけに集まった金沢の若者を中心としたグループで、10 月 19 日の最終日に行われる美術館的劇場空間作品の初日兼楽日に向けて活動をしています。

このワークショップの中で 8 月に野田秀樹を迎えサマーキャンプを行い、さらに美術館と劇場の「ホーム→アンド←アウェー」方式を推進させていきます。具体的には野田秀樹の次回新作（09 年 1 月シアターコクーン）のエッセンスを取り入れてワークショップを行っていく予定です。

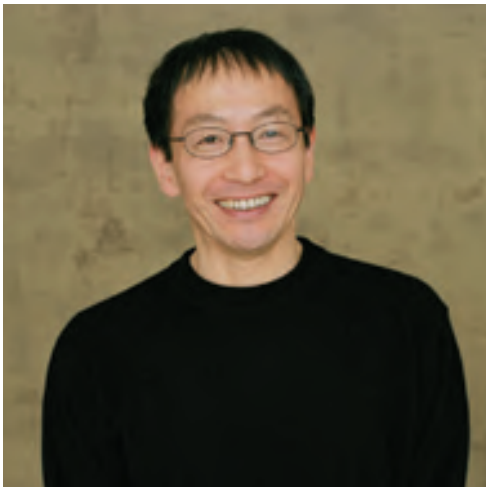
サマーキャンプに於いては Seeds company に加え、多摩美術大学・金沢美術工芸大学・東京芸術大学の学生たちも参加し、金沢と東京、そして大学間の交流をもしかけていく予定です。

以上が 2008 年の「ホーム→アンド←アウェー」方式の概要です。

あっ･･･補足しますと Seeds company の Seeds は前年度行った、「ホーム→アンド←アウェー」方式の「明後日朝顔プロジェクト 21」で収穫した明後日朝顔の種のことです。その種は、いろいろな形になって今年の [But-a-l] にも登場しています。段ボールに刺繍した作品「種の人」など、明後日の種は [But-a-l] という土壌で変容していきます。

日比野克彦

# 作 家 紹 介



## 野田秀樹（のだ　ひでき）

1955年、長崎県生まれ。
東京大学法学部在学中の1976年に劇団夢の遊眠社を結成。作・演出・出演の三役をこなし、「走れメルス」、「ゼンダ城の虜」、「野獣降臨（のけものきたりて）」、「贋作（にせさく）・桜の森の満開の下」など数々の名作を生み、80年代の演劇界のトップランナーとして脚光を浴びる。1992年に劇団を解散後、１年間の英国留学を経て、1993年、ＮＯＤＡ・ＭＡＰを設立。以後、「キル」、「パンドラの鐘」、「赤鬼」、「オイル」をはじめ、次々と話題作を発表。ＮＯＤＡ・ＭＡＰ以外でも中村勘三郎と組んで「野田版・研辰（とぎたつ）の討たれ」や「野田版・鼠小僧」など歌舞伎の脚色・演出も手がけている。さらに新国立劇場でオペラ「マクベス」を演出。また、海外でも現地の役者と話題作を発表。2006年にはロンドンSOHO THEATERで、英語による戯曲「THE BEE」を上演し、高い評価を得る。
2007年、「THE BEE」を日本バージョン、ロンドンバージョンで連続上演し、紀伊國屋演劇賞団体賞、毎日芸術賞、朝日舞台芸術賞グランプリ、読売演劇大賞・最優秀作品賞、同最優秀演出家賞、同最優秀男優賞を受賞。2008年4月より多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科にて教鞭をとる。
本年夏には、ロンドンSOHO THEATERで新作「THE DIVER」を上演予定。ＮＯＤＡ・ＭＡＰ公演は、2009年１月～２月東京・シアターコクーンで新作を発表予定。

＊「NODA MAP」オフィシャルウェブサイト
http://www.nodamap.com

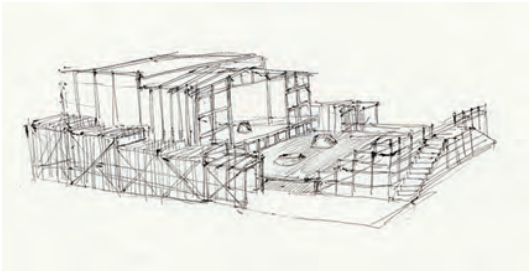
---

## 日比野克彦（ひびの　かつひこ）

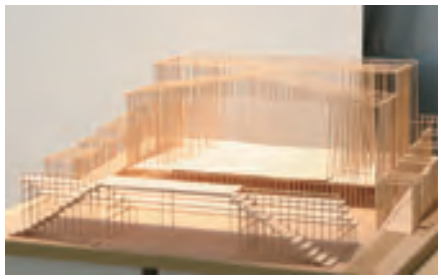
1958年岐阜市生まれ。東京芸術大学大学院修了。
在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展・グループ展を多数開催する他、舞台美術、パブリックアートなど、多岐にわたる分野で活動中。近年は各地で一般参加者とその地域の特性を生かしたワークショップを多く行っている。1982年第３回日本グラフィック展大賞、1983年第30回ＡＤＣ賞最高賞、第１回JACA展グランプリを受賞。1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレに出品、1999年度毎日デザイン賞グランプリを受賞。
現在東京芸術大学先端芸術表現科教授。
2007年度には金沢21世紀美術館（日比野克彦アートプロジェクト「ホーム→アンド←アウェー」方式）、霧島アートの森（日比野克彦展『日々の旅に出る。』）、熊本市現代美術館（「『HIGO BY HIBINO』日比野克彦展」）での個展を開催。

＊日比野克彦オフィシャルウェブサイト「CAFE HIBINO NETWORK」
http://www.hibino.cc

## ご提供できる画像



日比野克彦《[But-a-l]のためのスケッチ》
2008年



日比野克彦《[But-a-l]のための模型》
2008年

日比野克彦《[But-a-l]のための幕絵》
2008年

[But-a-l]プロジェクト工房での
ワークショップ風景
撮影：日比野克彦

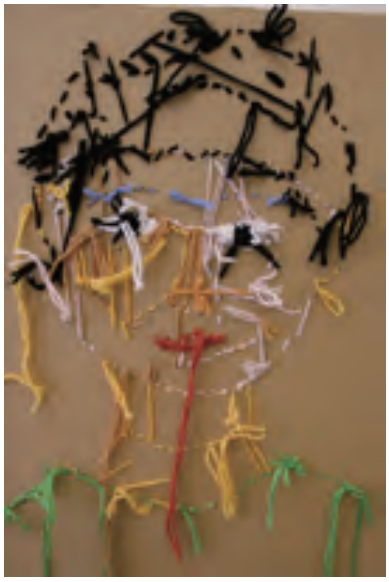
[But-a-l]プロジェクト工房での
ワークショップ風景
撮影：日比野克彦

[But-a-l] 展示室13での
ワークショップ風景

[But-a-l] 展示室13での
ワークショップ風景
撮影：日比野克彦

[But-a-l] 展示風景
2008年
撮影：日比野克彦

[But-a-l] 展示風景
2008年
撮影：日比野克彦



日比野克彦《種の人》
（部分）
2008年

日比野克彦《種の人》
（部分）
2008年

# 関 連 企 画

## ■[But-a-l] 公開ワークショップ

定期的に行っている [But-a-l] ワークショップを公開します。
日時：毎週土曜日　14：00〜16：00
会場：展示室 13
料金：無料

## ■日比野克彦　アーティスト・トーク

[But-a-l] 最終日に、日比野克彦が半年間のプロジェクトを振り返りながら、アートと演劇の実験についてゲストと語り合います。（ゲストは未定）
日時：10 月 19 日（日）　14：00〜15：30（開場：13：40）
会場：金沢 21 世紀美術館　展示室 13
定員：80 名
料金：無料

【申し込み方法】往復はがきにてお申し込みください。
往信面に住所、氏名、年齢を、返信面に返信先住所氏名をご記入下さい。（1 名につき 1 枚）
応募者多数の場合、抽選とさせていただきます。
【申し込み期間】2008 年 7 月 20 日〜9 月 20 日（必着）
【申 し 込 み 先】〒920-8509　石川県金沢市広坂 1 丁目 2 番 1 号
金沢 21 世紀美術館　学芸課　[But-a-l] トーク係

## ■ヒビノカップ 2008 in 金沢

段ボールでオリジナルゴールを制作してミニサッカーゲームを行います。
日時：9 月 28 日（日）
会場：金沢市民芸術村
対象：小学生以上、事前予約制

※企画は都合により変更になることがあります。
※取材向けに企画を公開する場合は、事前に別途プレスリリースにてお知らせいたします。